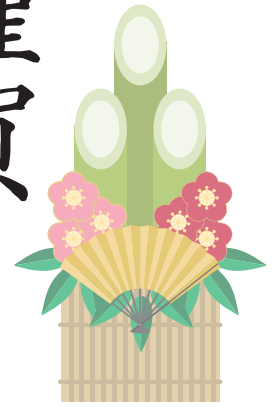
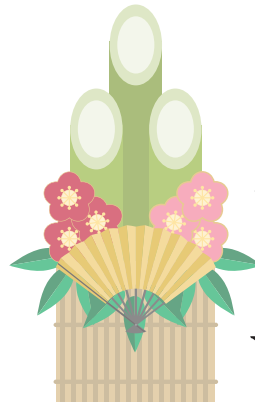


謹賀 新年



薬師寺 東塔 (写真提供…薬師寺)

令和3年・辛丑の新年にあたって

あけましておめでとうございます。

会員及び関係各位の皆様におかれましては、令和三年辛丑の新年を清々しくお迎えになりましたことを心よりお慶び申し上げます。日頃は奈良県経済倶楽部の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態に、世界中が翻弄された大変な年でした。本来なら、東京オリンピック・パラリンピックが



会長 菊池 攻

開催され、華やかな一年になるはずでしたが、一転、外出もままならない事態になり、まさに諸行無常を痛感致しました。

今も先行き不透明な状態が続いており、観光客の激減、会議・会合・慶弔行事の自粛、国内外への外出規制等から、あらゆる業界で経済が停滞し、多くの方が困難な状況に置かれています。

そんな中、「テレワーク」「オンライン会議」「オンライン授業」等、在宅での仕事や学習が身近に行われ

るようになりました。通勤、通学、出張に要する時間が減り、思いがけず余裕が出来て、家族と過ごす時間が増えたり、普段出来ない事が出来た方もあったようです。当たり前に繰り返されてきた日常生活が激変したことで、今までの働き方や生活を改めて見直すきっかけになりました。

昨年四月、平城京最古の建造物、国宝「東塔」の大修理を終えた薬師寺は、飛鳥時代、天武天皇が皇后（後の持統天皇）の病氣平癒を祈願して建立を発願しました。本尊の薬師如来は病氣や災難を除き、健康と幸福を与える仏様として信仰されています。

また、東大寺大仏殿は、奈良時代、聖武天皇が、政変・災害・疫病の流行等で不安定な国を収めるために建立を発願しました。昨年の秋の正倉院展では、光明皇后が聖武天皇の遺愛品と共に東大寺に献納した薬物が多く出陳されましたが、薬物の献納は、仏を供養すると共に、病人に分けて病を癒す目的がありました。光明皇后は生涯にわたり病人救済や福祉活動に尽力されましたが、古来より人は病に翻弄されつつ、懸命に克服してきたことが伺い知れます。今も献身的に治療に携わっておられる医療従事者の方々に改

めて敬意を表すると共に、いつか歴史の教科書に記載されるであろう新型コロナウイルスの時代に生きる我々も、先人を見習い、前向きに生きていかねばなりません。

奈良県経済倶楽部も、創立以来続いてきたメイン事業の火曜午餐会を三月から六月迄休会しましたが、現在は、感染対策を徹底し、出席者にご協力頂いた上で再開しています。時代と共にオンライン化が進んでも、やはり、人は人と直接関わることによって心豊かになります。延期になっている視察研修会や視察研修旅行、ゴルフコンペ等が以前のように開催出来る日が早く来ることを願ってやみません。

不安定な時代ですが、経済倶楽部の定款目的項に謳う「会員相互の交誼親睦を敦くし、その知識徳性を啓発すると共に、奈良県商業の振興を通じて地域経済の活力増進と地域文化の向上に貢献する」ために、何が出来るかを改めて考えて行かねばなりません。より一層のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。本年が皆様にとりまして心穏やかな年となりますよう心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和三年・丑年